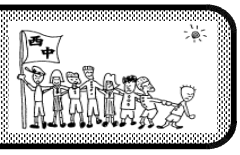
自立・自己実現
①生活習慣と規則を守る力
②仲間とともに高まる力
③自ら学び、考え、判断する力

学校だより DREAM

茨木市立西中学校
3月　No.13
発行責任　田中義明

いよいよ　学年・クラスのゴール！



昨日まで賑やかだった教室の壁に、何も貼っていないのを見ると少し寂しさを感じませんか。教室の中の掲示物はみなさんの1年間の足跡でした。この教室の中で、さまざまな出来事が起こり、みなさん自身の力で乗り越え、ともに成長してきました。「このクラスが良かった」「まだ、離れたくない」という思いを持っている人も多いことでしょうね。1年前の自分や集団より確実に力がついていること、まだまだ実感はないかもしれないけれど、これまでの1年間で学んだことは必ずあったはず。ぜひ、これからの自分、クラスづくりにつなげてほしいと思います。

さて、1年前、皆さんは、ひとりひとりの思いをつなぎあわせ、こんなクラスを創りたいという思いをこめて学校目標を創り、ゴールを目指してスタートしました。

春、多くの人たちと初めて出会い、知り合い、互いのことを聴き合いました。少しずつ、緊張感がとれ、教室の中にいることへの安心感が増していきました。

班ができ、班で協力しながらの取り組み、楽しく会話のはずんだ班食べ、一日を振り返ったST、J4・J3などの授業の取組を進めるほどに、仲間の課題も見え始め、クラスで問題も起こりました。教室に入りにくい友達もでてきました。

その都度、仲間のことを考え、どうすれば一緒に頑張れるのか、どんな声かけをすれば相手に心に声が届くのかなど、班やクラスで考え、それぞれの持つ課題に寄り添い、取組みを進めてきました。

夏、部活動に打ち込み、勉強にはげみ、心も体も成長しました。

秋、すばらしかった二大行事。でも、取組みがすべてうまくいったわけではありません。リーダーの声かけに、なかなか耳を貸してくれない子、ふざけて取組みをじゃましてしまう子に対して、クラスのリーダーは毎日を反省し、明日の作戦を考え、「本気の声かけ」を続け、成功へ導いてくれたのだと思います。

そんな中で、「本気の声かけ」という言葉が表舞台に登場してきました。もともと2年生の中で使われていた言葉が、生徒会役員候補の演説の中で、多くの候補者から語られました。そして、いつしか、学校全体の言葉に成長してきました。

冬、最後にミーティングをしました。ミーティングをして良かったと思ったのでは。次のステップへつながる貴重な時間だったと思います。

今日で 1 年が終わります。あなた自身は、クラスは、学年はゴールのテープを切ることができたでしょうか。先輩から引き継いだもの、今年の反省、みなさんの思いをつむいで、来年、いいスタートを切って下さい。

仲間に「ありがとう」って言えましたか！

3月の終わり、3学年ともクラスミーティングが実施されました。「ミーティングなんか何でするの。本音なんて言えない。」という人もいたと思います。

でも、みんなの前で、自分の本当の気持ち、しんどい思い、支えてくれた仲間への感謝の気持ちなどを、かみしめるように語ってくれる仲間、一言一言受け止めてくれる仲間の姿があり、嬉しくなり「ミーティングをやって良かった」と思えたのではないですか。

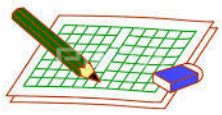
今年1年で皆さんは確実に成長しました。それはもちろん、自分自身が努力したからに違いないのですが、決して自分ひとりの力で成し遂げたことではないはずです。

毎日、暖かく学校へ送り出してくれた保護者がいたから、自分の気持ちをわかってくれると感じた仲間に出会えから、適切なアドバイスをしてくれた先生がいたから、いつも嫌なことを言われていた相手に負けないでおこうとしたことが、自分を強くしたからかもしれません。皆さんを変える＝成長さ**せるきっかけは**プラスの出来事の中にも、マイナスも出来事にも**あったと思います**。

原稿を書くときに担任の先生から「まず、自分自身と向き合って」と言われたクラスも多かったと思います。

「自分に向き合うこと」は「自分を知り、今ここにいる自分を受けいること」です。

自分と向き合う中では、自分に弱点があって、あの人のようになれない自分、嫌いな自分と出会うことがあります。そのことを受け入れることができず、人のせいにしてしまう。自分をさらけだすことなんてどうしてもできない。今までつくってきた自分がいるから。



そんな自分が嫌になり、また、悪循環・・・。そんなことミーティングで言えるわけがない。「自分と向き合うこと」は難しいことですね。

でも、みなさんは、なりたい自分を求めて、一生懸命生きているんです。そして、そのことを見守ってくれている人がいる。認めてくれている人が必ずいるんです。

ミーティングを通じて、そのことに気づいてほしいと思っていました。

君たちは、人とのつながり、絆の中で成長してきました。そして、1年間のさまざまな取組みを通じて、仲間への信頼を手にいれました。そのことに気づいてほしいと思っています。

仲間を信じて、一生懸命語ったこと、笑う人はいましたか。いつもと違う自分を見せて、馬鹿にする人はいますか。そして、仲間に心から「ありがとう」って言えたでしょうか。「ありがとう！」1年の終わりに、みなさんを支え、見守ってくれた人たちに必ず行ってほしい言葉だと思っています。

ミーティングの感想から

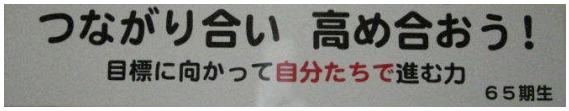
○皆それぞれ違う進路や道を見ているのだなと思いました。この時間を通して「あ、あの人はこんな夢を持っているだな」と仲間のことがわかるようになりました。卒業に悲しい思いを抱く人もきっと多いと思う。たしかに、私も港は離れたくないし、時間が戻ればいいのになぁと思っている。でも、卒業は「別れ」という意味もあれば、「出会い」の意味もある。辛いけど、ここからスタートでもあると思う。でもきっと将来「同じクラスだったよね」って言い合いたいです。あと4日で卒業です。皆といられる時間や話せる時間、教室の扉をあけることもなくなってしまう。わずかな日にちでも、もっと仲間と仲を深めていきたいと思った・クラスや学年の仲間に感謝！

○A君の作文を聴いて、すごく感動しました。皆それぞれ、不安な人も入れば、気にしない人もいました。一人ひとりが自分の個性や不安な事、素直な一面を話してくれてうれしかったし、○組を信頼してくれて感動しました。（後略）

在校生に頑張ってほしいこと

去年の3年生（65期生）

からのメッセージ



卒業生から、受け継いだメッセージのうえにみなさんの思いをのせ、さらに一歩前進した西中を築いてほしい。このことは、いままでも伝えてきました。

来年のスタートにみなさん自身が、充実した気持ちを持ち、1年生が安心して中学校生活に入れるよう、2年生は最上級生としての役割と責任を果たし、1年生は先輩になる自覚をもって新入生歓迎会の中心として運営を担ってくれることを期待しています。西中の「日常・仲間・自治」を精神を引き継ぎ、伝えていくのは皆さんです。

保護者のみなさまへ

この1年間、本校の教育活動にご理解・ご協力をたまわり、誠にありがとうございました。成績処理での誤りや、教職員の長期にわたる欠席などにより、生徒・保護者の皆さまにはご心配やご迷惑をかけましたこと、この紙面を借りてあらためてお詫び申し上げます。

また、保護者のみなさまにおかれましては、学校行事や西中校区のつどいなどをはじめ本校の取組に多数ご参加いただき、支えていただきましたこと大変感謝しております。子どもたちを真ん中において、保護者と学校が協働の取組をすすめることができているという実感を感じることができ、学校としましても安心して取組みを進めてまいることができました。次年度も、 教職員一同、さらに研鑽をつみ、子どもたちがいきいきと通える学校づくりを進めてまいりたいと思いますので、さらなるご支援をお願いいたします。

なお、2月初旬にご協力いただきました「学校教育自己診断」のアンケートの処理が遅れており、本来、この紙面で結果を報告ささていただく予定にしておりましたがかないません。結果ができ次第みなさまに学校だより報告させていただきますのでご了解ください。

2月も半ば。3年生にとっては、一番の正念場がやってきました。2月10・11日、私学入試が行わました。ご苦労さま。でも、これから、公立の特別入試、一般入試へと続いていきます。

どんな進路を選択するにせよ、今自分を振り返り、将来を見つめて、進路（生き方）を自分で考えることは大切です。十分考えて進路を決めてください。安易に入れるからとか友達や先輩がいるからということでは決めてほしくはありません。また、進路先の決定はゴールではなく、新たなスタートをきる場所を決めることです。

多くの人たちにはこれから公立入試があり、より自分の行きたい学校へのチャレンジが始まります。思うように成績が伸びないと焦りもでてきますが「受験は団体戦」です。

まず、安心できる学習環境を整え、互いに支えあい、不安やプレッシャーを少しでもやわらげていけるよう、仲間のしんどさを理解し、寄り添い、ともに受験を乗り越えていける仲間関係であってほしいと思います。仲間づくりにとっても最大の正念場です。

制服紹介

2月10日、この日、3年生が私学入試で頑張っているころ、学校では、生徒会本部役員や体育委員の皆さんを中心に、新入生説明会が実施されました。校区の4小学校から約330名の6年生が参加してくれ、生徒会からは、学校生活の説明と紹介ビデオ、後半には、体育委員さんが先導して部活動の見学が実施されました。

	１年	２年
優勝	４組	３組
２位	６組	２組
３位	５組	１組

皆さんも小学校6年の時に中学入学への期待と不安があったことと思います。「勉強が難しくなるのかな。」「先輩って優しいのかな。」「友達はたくさんできるだろうか。」「いじめはないのかな」など、そんな不安を少しでも解消し、中学校へスムーズに入学してもらうのが、大きな目的です。生徒会本部役員さんが堂々と、時にはユーモアを交えて進行してくれ、新入生の安心につながったのでないかと思います。

部活見学

Eマン

生徒会の皆さんが、学校の顔として、自覚を持ってしっかり準備してきてくれた説明会でした。小学生もとてもよく聞いてくれましたし、先生方の評判も上々でした。

1・2年生　百人一首大会

1月27日、体育館で1年（3•4限）2年（5•6限）に百人一首大会が実施されました。冬休みの宿題として、百人一首を暗記してきての対戦でしたが、全首覚えている人もいて、上の句を詠んだ瞬間に取られてしまうこともありましたが、どのクラスも決っしてあきらめず対戦は白熱しました。札が取れたら、自然と拍手が起こり、全体で楽しい時間をつくることができました。

デートDV・進路学習

2年生でデートDVについて考える時間がもたれました。デートDVとは「交際中の相手から、身体的•精神的•性的な暴力を受けること」で、その被害者にも加害者にもさせないため「対等な人間関係を築く」ことについて学びました。ローズWAMから講師の方にきていただいたり、ロールプレイなどを多く取り入れ、参加型の学習で中味を深めていきました。

ロールプレイ

また、1•2年生とも「進路学習」に取組んでいます。1年生は生き方や将来の仕事に関わって、2年生は卒業後の進路選択について学ぶ時間を持っています。